

日本デイケア学会第18回年次大会松本大会の開催にあたって

日本デイケア学会第18回年次大会 大会長 関 健

第18回日本デイケア学会は、信州松本で開催いたします。本市は、SUN-GAKUTOと称するPRをしております。すなわち、“岳都”、“楽都”、“学都”、の本市を特長づける三つの事柄に因んでいるのです。“岳都”は、北アルプス登山の玄関口であることを表しています。“楽都”は、毎年開催されるサイトウキネンフェスティバル松本、及び音楽教育、殊にバイオリンの早期幼児教育の鈴木メソッド等に因んでいます。“学都”は、国の重要文化財開智学校並びに旧制松本高等学校記念館等があることに因んでいます。松本駅の駅頭には、登山家の田部井淳子さん、指揮者の小澤征爾さん、菅谷昭松本市長、等の揮毫によるモニュメントがありますので、松本駅に降り立った際には是非ご覧ください。

さて、今年の学会テーマは、「デイケア治療マンネリズムの打破」としました。診療報酬上規定されているデイケア施設基準・人員配置・治療プログラムは、ある意味で硬直化しており、多様な治療法を導入し治療に反映させることができにくくなっているのです。デイケアは、多職種協働のチーム医療として、精神疾患や認知症治療に於ける重要なツールですが、今ひとつ発展できない憾みがあります。こうした現況を踏まえて、今回は、「デイケア治療における多様な治療法の効果」というテーマのシンポジウムを行います。日本各地で先進的に取り入れている治療法についてシンポジウムで発表して頂き、今後の

発展のヒントにしていきたいと存じます。また、医療観察法の通院処遇でデイケア治療を実践している病院の方達によるシンポジウムも企画しました。歴代学会長による「デイケアの現在と未来」なるシンポジウムも企画しました。認知症治療のツールとしての、デイケア・デイホスピタル・デイサービスを検討するシンポジウムも企画しました。その他にも有用なシンポジウムや教育講演を企画しましたので、多くの皆さんが参加されることを希望します。

懇親会の前には、大ホール（サイトウキネンの会場）で、“楽都”の面目躍如たるソプラノ歌手樋口千奈美さんによる歓迎コンサートを企画しています。懇親会ともどもお楽しみ下さい。懇親会では、地域の特産品でおもてなし致します。

さて、この時期、松本はそば祭りを開催いたします。松本城公園で、信州各地をはじめとして、日本中の蕎麦処から名代の蕎麦打ちが参集し、味を競います。一杯500円なので、何軒かはしごすると宜しいでしょう。きつと満足していただけたらと思います。

また、信州は秋たけなわであり、例年ですと上高地は紅葉の真っ盛りですし、黒部から立山の縦走にも宜しいときです。軽井沢、美ヶ原、志賀高原、浅間山、等の観光地も、皆様をお待ちしております。オフィシャル旅行社が、皆様のご旅行のお手伝いをさせていただきます。学会の後、連休を利用して信州の旅を満喫して下さい。

日本デイケア学会第17回年次大会福岡大会を終えて

日本デイケア学会第17回年次大会 大会長 西村良二

日本デイケア学会第17回年次大会は「多様化するデイケアへの期待に応える」という大会テーマを掲げ、2012年9月20日（木）21日（金）の両日にわたり福岡市（福岡国際会議場）において開催された。大会一日目は開会式に続き、「思春期のデイケアの試み～神経症圏内の子どもたちを中心に～」と題うった会長講演が行われ、思春期心性と集団力動の重要性が論じられた。続いて、教育講演「うつ病デイケアにおける集団行動認知療法の治療効果を高める技法と有効性」（仲本晴男先生）は、沖縄県立総合精神保健福祉センターで行われている集団認知療法の話であり、実践的な内容であった。また、西園昌久先生からは特別講演「精神科デイケアの理念と現実 - 大学精神科での事始め」をお話しいただき、1970年代のデイケアの事情を理解することができた。

昼休みには、展示場において、福岡県で行われているデイケア研究協議会（会長：西村良二）の機関紙「精神科デイ・ケア研究 ふくおか」のバックナンバーを無料配布したが、アツと言う間に無くなり、大変に好評であり、嬉しく思った次第である。

さて、1日目の午後からは、メイン会場のほかに、一般演題の3つの会場、ポスター展示会場にわかれ、同時進行し、活発な討議が続いた。メイン会場では、伊藤弘人先生による教育講演「精神科医療政策からみたこれからのデイ・ケア」、続いて、シンポジウム「高齢者・認知症デイケア・デイサービスのこれからを考

える」であったが、いずれも熱心な討議がおこなわれた。

懇親会はスイーツ懇親会を企画した。女性に喜ばれるケーキとジュースの懇親会である。乾杯もジュースで行い、「こんな懇親会、はじめて！」と参加者は驚きを隠せないようであったが、「まんざらでもない」という評価であった。学会場のすぐ近くに九州最大の歓楽街の中洲があってこそこの企画であったが、男性にも好感を抱かれるひと時であった。

大会二日目は、2つのシンポジウム「リワークデイケアの広がりとアウトカム」、「機能分化の利点と弱点」と、一般演題の2会場の計4会場スタートした。午前中の後半には、2つの教育講演、神庭重信先生による「若年者のうつ病・うつ状態の理解と対応」と、池淵恵美先生による「恋愛・結婚・子育てを支援する」があり、多くの参加者が魅了された。

午後の総会の後は、メインの会場では、2つの特別講演が引き続いてあり、最初は、岡村武彦先生による「スポーツは心の病を救う～精神障害者フットサルのこれから～」であり、その後に、朝田隆先生による「認知症患者にみられる生活障害とその対応」であった。

一般演題も含め、時間いっぱいの熱心な討論が続き、スムーズに全日程を終了することができた。これは、ひとえに会員の皆様のおかげであると感謝し、次期大会以降のさらなる発展を祈っている。

精神科デイケアの施設基準の解釈について

- 1) 平成 24 年 9 月に新潟市にて、関東信越厚生局新潟事務所による「精神科施設基準説明会」が開かれました。この時に、口頭で説明された疑義解釈を参加者が筆記したものをお伝え致します。これはあくまでも参考資料に止めて下さい。

Q：病院内外の外出に医師の同行は必要か？

A：病院敷地内の散歩等については、万が一の場合でもすぐ対応出来るため同行しなくても良い。院外の買い物や旅行についても、必須ではなく、すぐに連絡できる状態ならば良い。医師が同行できるのならば、同行した方が良い。

Q：「経験を有する看護師」とは？

A：定めはない。業務をこなせるくらいの経験を有していれば良い。

Q：デイケア実施の算定時間はきっちり 6 時間以上か？

A：デイケア 6 時間、ショートケア 3 時間が「標準」となっているため、きっちり 6 または 3 時間でなくとも良い。しかし、恒常的に 6 または 3 時間未満ではいけない。

Q：時間内の診察は可能か？

A：デイケアでは医師のかかわりが必要なので、一般的な診察時間であれば時間内で良い。しかし、精神科以外は不可。

Q：時間の記載の仕方は？

A：開始と終了の時間、中断があればそれも記載しておくが良い。

(例) 9:30 ~ 12:00、12:30 ~ 16:00 (6 時間)

Q：食事時間はデイケアの時間に含めて良いか？

A：従事者が配置されていれば、算定時間に含めることは可能。

- 2) 別の地域で指摘された件：1 単位のデイケアが複数の小グループに分かれて実施することが可能になったが、例えば朝に全体が集まった後に分かれる様に、1 単位のデイケアとしての枠組みが必要である。複数のグループがそれぞれ全く独立したグループとして機能しているならば、グループ毎に 1 単位のデイケア施設基準の職員を配置しなければならない、との指摘がありました。

この様に、デイケアの施設基準について各地の厚生局より様々な指摘を受けることがあります。その時には、どうか日本デイケア学会の事務局にお知らせください。各地の情報を共有したいと思っています。情報源の秘密は守りますので、よろしくお願い致します。

(理事長 窪田彰)

日本デイケア学会 第18回年次大会松本大会のご案内

大会テーマ

「**デイケア治療マンネリズムの打破**」

大会長

関 健 (社会医療法人城西医療財団 城西病院 理事長・総長)

副会長

遠藤 謙二 (医療法人友愛会 千曲荘病院 理事長・院長)

樋掛 忠彦 (長野県立こころの医療センター駒ヶ根 院長)

大会URL

<http://www.daycare18.org/>

会 期

平成25年 10月10日(木) ~ 10月12日(土)

※学術大会 10月10日(木) 11日(金) /
研修会 10月11日(金) / 施設見学会 10月12日(土)

プログラム

学術大会 日 時: 平成25年10月10日(木)・11日(金)

会 場: キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館)

TEL 0263-34-7100

<http://www.matsubun.jp/>

参加費:

会 員	事前登録	7,500円	当 日	8,500円
一 般	事前登録	8,500円	当 日	9,500円
当事者・家族・学生		4,000円		
懇親会		7,000円(予定)		

会長講演

「**デイケアは治療法か治療の場か**」(仮題)

関 健(社会医療法人城西医療財団 城西病院 理事長・総長)

特別講演

三題予定

教育講演

四題予定

シンポジウム

三題予定

一般演題

オーラル発表 30演題 / ポスター発表 60演題

ランチオンセミナー

企業展示

コンサート **日 時:**平成25年10月10日(木) 17時~18時
会 場:キッセイ文化ホール 大ホール
※ソプラノ歌手による歓迎コンサート

懇親会 **日 時:**平成25年10月10日(木) 18時~20時
会 場:キッセイ文化ホール 1F 中ホール

第2回学会主催研修会 **日 時:**平成25年10月11日(金) 17時~19時30分
会 場:キッセイ文化ホール 2F 会議室1・会議室2
参加費:会員 2,000円 非会員 4,000円
1. 【精神科分野】
2. 【高齢者(認知症)分野】
※学会主催研修会についての詳細は
日本デイケア学会本部(TEL:03-3813-6368)にお問合せください。

施設見学会 **日 時:**平成25年10月12日(土)
※長野県中信地区内の2施設を予定しています。

演題募集について

- ・日本デイケア学会第18回年次大会では、デイケアに関する演題を広く募集します。
- ・演題募集期間: 平成25年3月~5月(予定)
- ・オンラインでの演題登録を予定しています。詳細が決まり次第、今大会ホームページでご案内します。
- ・募集要項の詳細は大会ホームページ上で公開してまいりますのでご参照下さい。

事前参加登録について

- ・事前参加登録期間: 平成25年3月~6月(予定)
- ・オンラインでの申し込みを行います。詳細が決まり次第、今大会ホームページでご案内します。
- ・研修会及び施設見学会は事前登録者を優先とさせて頂き、定員に達した時点で募集を終了しますので予めご了承下さい。

ポイント取得について 今大会では、日本精神神経学会精神科専門医資格更新にかかるポイントの取得ができます。

【お問合せ先】 【日本デイケア学会第18回年次大会松本大会事務局】
社会医療法人城西医療財団 城西病院内 企画相談室
〒390-8648 長野県松本市城西1-5-16
TEL 0263-33-6400 FAX 0263-33-9920
E-mail: info@daycare18.org

デイケア 西から東から、北から南から…

日本デイケア学会第17回年次大会福岡大会に参加して

坂井一也

筆者が日本デイケア学会に初めて参加したのは1998年の福岡学会からであった。今回、福岡で2回目の日本デイケア学会第17回年次大会福岡大会「多様化するデイケアへの期待に応える」が福岡国際会議場で西村良二福岡大学教授大会長を中心に行われた。テーマの通り、思春期から認知症、更には最近注目されている若年者のうつ病、障害者スポーツまで様々なテーマで活発な議論が行われた。

筆者は、新阿武山病院院長の岡村武彦先生の特別講演「スポーツは心の病を救う - 精神障害者フットサルのこれから -」の座長を行った。精神障害者スポーツは、以前は病院で入院患者を対象に卓球、ソフトボールなどが行われていた。最近では、地域で生活する精神障害者を対象にフットサル、バレーボールなどが中心に行われるようになった。西村良二大会会長の福岡大学では、早くから精神科デイケアを開設され、体育療法、フットサルが先駆的に行われている。岡村先生のフットサルが精神障害者のレジリアンスを高めるという実践の取り組みは、興味深く、精神障害者フットサルのワールドカップを実現したいという夢には、驚かせられた。

デイケアの増加と共に、長期通所や居場所的デイケアに対する批判めいた意見が聞かれるようになった。精神障害者の多くの方は、対人関係が苦手である。しかし、人と関わりたくない訳ではなく、むしろ人との関わりを求めている。デイケアで一日中何もせずにただ存在することにも大きな意味があるのではないだろうか。一般病棟も精神科病棟も機能分化が導入され、期間によって患者さんが動かされている感じがする。デイケアの長期利用が問題なケースもあるが、長期利用しているということは、地域で生活しているということである。精神科は人と人が出会い、人と人との関係が重要である。そこに期限、価値観、社会的常識などが加わると、おかしなことが起こるように感じる。デイケアが、対象者の思いに寄り添い、自己選択、自己決定を促す場でありたいし、人と人との関わりを大切にしていきたい。日本のデイケアは、世界に誇れる部分もあるのではないだろうか。今回の日本デイケア学会は、今後のデイケアの発展が期待できる内容であった。

(星城大学リハビリテーション学部)

北アルプスの景勝地松本よりの発信

関 健

私の執務室の窓から西を眺めると雪をいただいた北アルプスが冬の青空に映え、眺めているだけで気持ちすがすがしくなっています。この季節、当地は晴れの日が多くことに正面に見える常念岳に挨拶をするのが楽しみです。雪模様で雲がかかっているとがっかりもします。窓から下を覗くと私共のデイケアの建物が見えます。

城西病院のデイケアは、昭和42年8月にデイケアセンターを病院の一角に設けた時に始まりました。診療報酬がつく以前の試みで入院患者さんを対象とした作業治療に対して、外来患者さんを対象とした治療法として欧米の同様の試みに習

って始めたものです。その後の経緯については、諸処に投稿してありますのでご覧頂けたらと存じます。

これに遡ること8年、昭和34年2月には、精神障害者社会復帰施設「メンタルセンター寮」を開設し、そこを拠点として就労するシステムを手がけました。当時の記録(昭和34年2月～平成元年3月)では、90.3%の入所者が一般事業所に就労しています。デイケアの通所者は、1.4%でした。法定の社会復帰施設援護寮と福祉ホームを平成元年に造り、国の施策を横目で睨みながら運営してまいりましたが、その後(平成元年4月～11年4月)の記録では、一般事業所の就労は、

42.3%と半減し、一方、デイケア利用者は38.9%と急増しています。この結果は、幾通りにも読めますが、一般就労の道が閉ざされ日中の活動の場を失った精神障害者をデイケアが吸収しているということでもあります。就労できないのは、重度化したわけではありません。デイケアに通所している人々の再入院率は低く、デイケアが一定の治療効果を持っていることを示しております。

現在、私共の法人は、精神科病床を持つ病院を三つ（城西病院、豊科病院、ミサトピア小倉病院）、精神科を標榜している診療所を二つ（神城醫院、ミサトピア小倉醫院）を運

営し城西病院と豊科病院ではデイケアを行っております。また、老人保健施設を二つ（安曇野メディア、白馬メディア）を運営し、それぞれデイケアを行っています。対象は、精神障害者及び高齢者（認知症高齢者を含む）ですが、良い効果が現れています。機会がありましたら、私共が運営する社会復帰施設、就労支援施設、生活訓練事業所、宿泊型生活訓練事業所、精神障害者グループホーム、認知症高齢者グループホーム、等と合わせて見学して頂きたいと存じます。

（社会医療法人城西医療財団 城西病院）

実習生と精神科デイケア

岩藤裕樹

本邦における精神科デイケアは、入院から地域医療中心への転換、生活支援や就労支援の重点化に伴い、求められるニーズが多様化してきている。そのため、地域生活の促進や就労に向けた訓練、支援をする「社会参加型のデイケア」へと拡大が求められてきている。

当院では大規模デイ・ケアを3箇所で開催しており、多様化したニーズに応えるべく、重度で比較的予後が良くない利用者に対する治療や、「社会参加型のデイケア」の一環として就労前訓練に力を注いでおり、全国大会においてその一部を報告している。今回、精神科作業療法士としての立場で作業療法実習生について若干述べたい。

臨床実習は「作業療法臨床実習の手引き」によると、養成施設で学習した知識と技術・技能および態度を臨床における作業療法体験により統合し、学生は作業療法士としての知識と技術・技能および態度を身につけ、保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高めるものと示されている。最終学年での総合臨床実習では、7～8週間の短期間にて上記の内容を達成することが求められているが極めて困難な状況である。その理由として、ルールやマナーといった社会性に欠ける実習生が急増していること、医学的知識に基づいて生活上の問題を解釈し、問題解決に結びつけることが困難な実習生が増えていることが指摘されており、当院でも見かけるようになってきた。しかし、予めプログラムの就労前訓練を体験することにより、利用者への介入を通し、職業人とし

での意識への気づきを得ることからほとんどの実習生は社会性に気を配れるようになってきている。また、精神科デイケアの現状も変遷の時代を迎えており、手探りの中で「効果」や「結果」を意識しながらも、多忙な日々の業務をこなしている。そのため、指導者側が施す教育体制も「カンと経験」に頼らざるを得ない状況である。しかし、就労前訓練を実施している利用者と同様に、実習生に対しても理解しやすいような具体的なフィードバックすることで指導がスムーズに行く場合もある。その他にも様々な困難な背景はあると思うが、実習生本人だけに要求するのではなく、実習指導者自身も専門技術を伝える者としての意識を持ち、価値ある知識や考えを伝えられるよう、指導力を高める工夫が必要であると考えている。

精神科デイケアは医療費削減の社会動向から、必要性を訴え示していかなくは生き残れない時代になってきている中、全国的にも様々な活動への取り組みが行われ、可能性の広がりを見せているところである。ここで得ている様々なスキルは利用者のみならず、実習生の指導にも生かしていきけるのではないかと考える。この時代を生き残るために、筆者自身の成長はもちろん、さらに若い勢いに乗った力も必要であり、これから新入職員となるであろう実習生の成長、即ち即戦力の養成に力を懸けることも必要な要素の一つであるのではないかと考える。

（医療法人 清照会 湊病院）

第1回学会主催研修会のお知らせ(第1報)

テーマ「精神科デイケアで自分を生かすコツ」

デイケアに来ることで、メンバーさんがよくなっているということは何となく感じているけれど、何がどうよくなっているのかわからない。デイケアのよさや、デイケアに治療的なものがあるということは感じているけれど、それが何なのかははっきりとは言葉にできない。そのような経験をしたことはありませんか。

治療効果として数値で表したり、明確に言語化したりすることは難しい。しかし、確かにあるデイケアの「何か」についてともに考えることを通して、デイケア独自の専門性とは何か？それをいかしていくためにできることは何か？デイケアで自分をどう生かしていけばいいのか？ということを検討できれば、と思います。

日時：5月18日(土)午後1時～5時(予定)

場所：大阪府内で調整中

参加費：学会員 2,000円、非学会員 4,000円

申込期間&方法：デイケア学会のホームページ(決まり次第UPします)または案内チラシ(次回発送される学会誌に同封予定)をご覧ください。

対象者：精神科デイケア業務に従事する方、精神科デイケアに関心のある精神保健医療福祉従事者

企画・運営：百田 功、山崎 勢津子(浅香山病院A館デイケア)、他
担当理事：研修委員会 富澤 宏輔(大阪人間科学大学)

日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、老人デイケア・サービス分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAXか郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正会員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円(登録者名の変更は適宜可能)

(3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください)

振込先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 日本デイケア学会事務局

TEL&FAX：03-3813-6368 E-mail：info@daycare.gr.jp URL：http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線(ご記入いただき、郵送あるいはFAXで事務局までお送り下さい。) -----

入会申込書

(正会員用)

申込日 平成 年 月 日

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日
----	--	----	-----	------	----------	---	---	---

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	()
--------	---	------	-----

(団体会員用)

団体名		代表者	
-----	--	-----	--

所在地	〒		
-----	---	--	--

種別	TEL	()	FAX	()
----	-----	-----	-----	-----

デイケア従事者(計 名) ※デイケア従事者より会員登録となります。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ